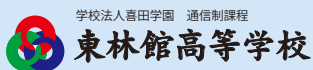


「教えて喜田先生!」子育てに悩む パパ&ママを応援!



学校法人喜田学園 通信制課程

東林館高等学校

- ◎3年で高校卒業を目指すコース
- ◎受験対応個別指導コース
- ◎中学生コース・社会人コース

目的に合わせた幅広い学びを提供しています

福山市光南町1-1-35
TEL.084-923-4543
FAX.084-926-9607



●福山駅南口から徒歩で約10分

東林館 福山

検索

今回のコラムでは、読者の方からいただいたご質問にお答えさせていただきたいと思います。

Q最近、小学生の娘と会話がなくてどう接すればいいのかわからない?娘に嫌われるのも怖い...

Aこのような悩みをお持ちのお父さんは多いです。基本的に思春期は、娘さんとお父さんの間には距離ができません。これはごくごく自然なこと。特別なことではありません。

お父さんの役割は、いざというときの「大黒柱」だと思います。そして、お母さんが気持ちよく子育てできるようにサポートすることもお父さんの大切な役割だと感じます。例えば、お母さんの愚痴や悩みを聞くことも大切なことです。

また、お母さんだけを、子どもの憎まれ役にしないことも大切。お母さん、怒ってばかりで怖いね〜」なんてお母さんに語りかけるお父さんがいますが、その言葉は、お母さんにとってはただただストレスですし、お子さんにとってもよい言葉とは思えません。

●嫌われるのは「何のため?」

娘さんから嫌われたくないというお気持ちには理解できますが、「何のために嫌われるのかを整理してみることが大切です。本校の教職員とも常に話をしていますが、耳当たりの良い話ばかりです。先生が、良い先生とは限りません。子どもの将来を思うのであれば、嫌われても、その子のために耳障りな話をすることも時に必要なことです。嫌われることを恐れて、必要なことが言えないのは教育者ではありません。本人のためを思っている、その時は嫌われるかもしれない。でもいつかわかってくれるものです。

それは親子でも一緒です。もちろん積極的にお子さんから嫌われる必要はありませんし、誰だって人から嫌われるのは抵抗があるものです。ただ親として、お子さんに耳障りな話をしないといけない時はあります。そのとき、一時的には嫌われるかもしれませんが、お子さんのためを思って伝えれば、いつかきいてわかってくれる時が必ず来ます。



喜田 紘平

東林館高等学校 理事長
実践心理学カウンセラー

学び・自立支援を通して 子どもの未来を創ります